

(様式1) <b>平成19年度 事務事業評価表</b>						
記入年月日	平成19年4月2日		記入者		連絡先	3332
平成18年度部名	土木部		課名	下水道整備課	課長名	竹田 幹夫
平成19年度部名	土木部		課名	下水道整備課	課長名	竹田 幹夫
事務事業名	公共下水道測量設計等委託市単独事業費(市街化調整区域分)					
予算上の事務事業名	下水道整備課調整区域分					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32610		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます					
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理					
施策名	第1施策 汚水対策の推進					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	下水道法第3条					
3 個別計画の概要			概要			
計画名	市街化調整区域内の公共下水道(汚水)測量等委託事業		市街化調整区域内 認可面積:約330ha 総事業費:95億円		人口:13,400人 世帯:3,700世帯	
計画年次		年度~		年度		
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入		5 事業開始年度	平成12年度		
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
公共用水域の水質保全、生活環境の改善及び公衆衛生の向上を図るため、市街化調整区域内の生活廃水対策の一環として市街化調整区域の公共下水道(汚水)整備工事を円滑に推進するため、測量、地下埋設物調査、地質土質調査、設計を外部委託するもの。				市街化調整区域内 人口:13,400人 世帯:3,700世帯 (市街化調整区域全体の約90%)		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
測量委託	0件			0円		
地下埋設物調査委託	2件	7,082,250円				
地質土質調査委託	0件			0円		
設計委託	2件	19,530,000円				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	公共下水道測量設計等委託市単独事業費(市街化調整区域分)					
8 事業費の推移	[単位:千円]					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	80,569	70,216	26,613	3,000	0	
一般財源	14,769	10,916	3,713	900	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	65,800	59,300	22,900	2,100	0	
人件費の合計	19,368	16,905	9,660	2,415	0	
事業コスト合計	99,937	87,121	36,273	5,415	0	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	公共下水道測量設計等委託市単独事業費 (市街化調整区域分)			対象名称 と単位	委託件数(件)	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	99,937	87,121	36,273	5,415	0	
対 象 数	8	7	4	1	0	
単位あたり経費(円)	12,492,125	12,445,857	9,068,250	5,415,000	#DIV/0!	
前 年 度 比		1.00	0.73	0.60	#DIV/0!	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	委託完了件数（件）	指標式と指標の説明	委託完了件数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	8.0	7.0	4.0		
目標	6.0	6.0	2.0	1.0	0.0
目標達成度（%）	133.3	116.7	200.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	汚水整備委託面積（ha）	指標式と指標の説明	汚水整備委託された面積		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	69.5	45.7	8.0		
目標	69.5	45.7	8.0	10.6	0.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[	]：良好な状態を維持する事業			
	[	]：概ね良好な状況である事業			
	[	]：見直しを行う必要がある事業			
	[	]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		限りある財源の中で早期実施は困難な状況にあるが、計画どおり推進しており、整備完了により公共用水域の水質保全、生活環境の改善及び公衆衛生の向上が確実に図られている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
公共下水道の早期整備に合わせ、供用開始された家屋における宅地内排水設備の早期な工事実施。			調整区域内の家屋が連担する区域を中心に整備を図っているが、汚水の発生している家屋が分散しているため、整備区域が面的に捉えられず、一度に多くの処理可能となる家屋が得られない。その結果、早期実現を希望する市民のニーズには必ずしも応えられていない。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・事業の実施及び内容について特に問題がなく、現状維持とする。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			